

佃島エリア

中央大橋の奥に
スカイツリーが
見えるポイント



佃島

徳川家康の江戸入城後、摂津国・佃村の漁民たちを江戸に呼び寄せ、特別の漁業権を与えた。隅田川河口部の砂洲に築島して定住し、この島を故郷である佃村にちなんで「佃島」と命名した。その後大阪の住吉大社が分霊され、この地に住吉神社が創建された。佃煮発祥の地が佃というのは有名である。明治時代に石川島造船所が創設され、現在の佃の多くの部分はその敷地であった。また1986年から8棟の超高層マンションを中心とする「大川端リバーシティ21」の整備が開始された。

築地外国人居留地

江戸末期の欧米各国との修好条約締結に伴い、各地で開市・開港を行い外国人の居住と貿易を認めた。東京では1869年に築地鉄砲洲（現在の中央区明石町）に外国人居留地を設けた。外国公館が多く設置され、海外からの宣教師・医師・教師などの知識人が居住し教会や学校などを数多く開いた。このため青山学院や女子学院、立教学院、明治学院、女子聖学院、雙葉学園等の発祥地となっている。なお居留地は1899年の治外法権撤廃で廃止されている。

築地本願寺

浄土真宗本願寺派のお寺である。1617年に横山町に創建され、明暦の大火後に築地に移転した。1934年に再建された本堂はインド寺院を思わせるデザインで重要文化財に指定されている。仏教寺院には珍しくパイプオルガンが設置されており、毎月最終金曜日にランチコンサートも開催されている。

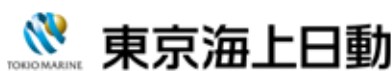
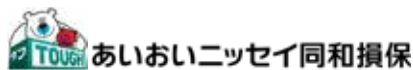
築地場外市場

築地市場の場内ではプロの業者を相手にしているが、築地四丁目交差点の南に広がる場外市場では300軒以上の飲食店・食材や調理器具の店が活気にあふれた商売をしており、90年代後半より一般の買物客や観光客が多く訪れるようになった。ウォーキングの後に立ち寄ってみてください。

築地エリア



協賛企業
(50音順)



一生涯のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group



株式会社 東商サポート&サービス

